

「旧石器時代の人類」展 文化講座 2

シンポジウム

「新しい」 港川人の時代



2024.

1.20 **土**

入場無料

14:00 ~ 17:00
(開場 13:30)

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合がございます。

講師 海部 陽介 氏 (東京大学総合研究博物館 教授)
藤田 祐樹 氏 (国立科学博物館 研究主幹)
水野 文月 氏 (東邦大学医学部医学科 講師)

会場 沖縄県立博物館・美術館
3F 講堂

受付 当日先着 (定員 200 名)

お問合せ 098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

海を越えて最初に琉球列島へとやってきた、旧石器時代の人類を代表する港川人。半世紀以上前に発見されて以後、長くこの時代を代表する化石人類でしたが、この10数年間の調査研究によって化石人類の新資料の発見に加え、港川人を取り巻くさまざまな事柄が解明されてきました。本シンポジウムでは、最新の調査研究成果を生み出す研究者らが「新しい」港川人の時代について講演を行います。

■プログラム

- 14:00 開会
- 14:05 ①「港川人1号の古代 DNA 解析」 水野 文月 氏
- 14:50 ②「沖縄旧石器時代の自然と暮らし」 藤田 祐樹 氏
- 15:35 休憩
- 15:45 ③「海を越えた最初の琉球列島人 ~港川人と実験航海から見えること~」 海部 陽介 氏
- 16:40 質疑応答
- 17:00 終了

あなたの沖縄に出会う

 沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

【開館時間】 9:00-18:00 (金・土は20:00まで)

【休館日】 月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)
年未年始 (12/29(金) ~ 1/3(水))

船の科学館 Supported by
海の学び 日本財団
ミュージアム THE NIPPON
サポート FOUNDATION

海と日本
PROJECT

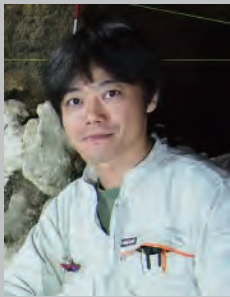


港川人1号の大腿骨からのサンプリング



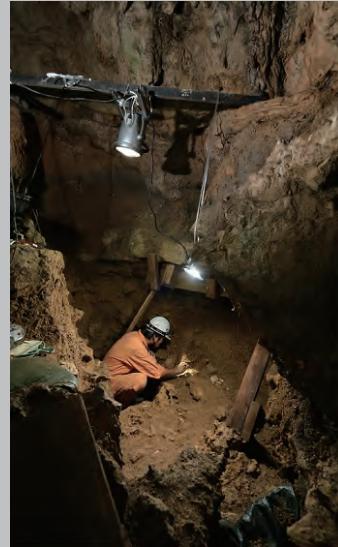
水野 文月 氏 (東邦大学医学部医学科 講師)

港川人1号人骨のDNAは、劣化して短く断片化されていますが、次世代シーケンスを用いた新しい実験方法によって、ミトコンドリア DNA 全塩基配列を決定することができました。港川人1号、縄文人、弥生人、現代日本列島人のミトコンドリアDNAを比較解析した結果、ならびに核ゲノム分析への挑戦についてお話しします。



藤田 祐樹 氏 (国立科学博物館 研究主幹)

自然豊かな琉球列島に、旧石器時代にやってきた人々は、どのように生きて、琉球列島の自然にどのように影響を与えたのか。サキタリ洞の調査や、リュウキュウジカ化石の研究で明らかになってきた、旧石器時代の自然とヒトの関わりについて最新情報を紹介します。



左：サキタリ洞調査風景 右上：カワニナ殻 右下：リュウキュウジカ骨格



丸木舟を用いた台湾～与那国島間の実験航海 (2019年)



海部 陽介 氏 (東京大学総合研究博物館 教授)

沖縄の歴史は、3万年以上前に、男女の集団が困難な海を越えてこの地へたどり着くという壮大なドラマで始まりました。その大航海の実態をさぐった「3万年前の航海徹底再現プロジェクト (2016-2019)」や、約2万年前の港川人の化石骨を研究して見えてきた、沖縄の旧石器人たちの素顔に迫ります。

「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」ドキュメンタリー映画

『スギメ』上映会

10:00 ~ 12:00 (開場 9:30)
定員 200名 (当日先着)
入場無料



上映後、プロジェクト代表 海部陽介氏からスペシャルコメントがあります

詳しくはこちらから

同日
開催